



FEATURES

- ・ コヒーレントを向上した同軸設計 (8 インチウーファー、バスレフ)
- ・ 明瞭度と耐入力を改善
- ・ グレードアップしたユニットとクロスオーバー
- ・ 入力コネクタは接続しやすい場所に配置
- ・ コンソールブリッジモニターにも使える高い安定性

DESCRIPTION

MicroWedge MW8 は、ラット・サウンド・システムズのオーナーで MicroWedge シリーズの生みの親デイブ・「ラット」・レヴィンと EAW エンジニアリングチームのコラボレーションで生まれた製品で、音響特性と人間工学的な特性を劇的に向上しました。8 インチのウーファーと 1.75 インチボイスコイルの高域コンプレッションドライバーで同軸を構成し、円錐 90 度の放射を完全に、制御された通りにカバーします。

すべての周波数がまさしく一点から生み出されるため、クロスオーバー帯域での問題や時間 / 位相の変則部分を排除してコヒーレントを最適化します。同軸という手法は小型化とロープロファイルな仕上がりに貢献しています。

エンクロージャー前面のポートは、床面とのカップリングによって低域特性を向上し、また開口部は持ち運びに便利なハンドルであり、デュアル NL4 のためのスペースでもあります。

MW8 にはステージモニターとしても、コンソールのブリッジモニターとしても、同じように使えるという利点があります。安定性が高くバランスのとれた設計なので、コンソールブリッジの脇に（後部を下にして）縦置きすれば簡単に自立させることができます。1 組の NL4 コネクタが手の届きやすい位置にあるため、コンソールがよりセットアップしやすくなります。ポールマウントもオプションをご用意しています。

バルト海沿岸産の樺材合板で作られたエンクロージャーには、黒と白の仕上げがあります。黒色モニターは EAW の RoadCoat 仕上げで保護され、引っ掻き傷などがかなりつきにくくなっています。白色モニターはきわめて丈夫なラテックス仕上げです。強度が高いスチール製のグリルは、上から人が乗っても変形しません。リギングできるよう、MW8 の底面には Omnimount プレート用のマウンティングポイントがあります。

MW8 の特性をさらに高めたい用途では、EAW のデジタル・シグナル・プロセッサ UX8800 を使うと最適化することができます。

2 ウェイフルレンジステージモニター

注釈を最終ページの NOTE でご紹介しています。ご参照ください。

CONFIGURATION

サブシステム

	ユニット	音響的負荷
LF	8 インチコーン × 1	バスレフ
HF	コンプレッションドライバー × 1 1.75 インチボイスコイル 1 インチ口径	同軸負荷

動作モード

	アンプチャンネル	シグナルプロセッシング
シングルアンプ	LF/HF	ハイパスフィルター

PERFORMANCE

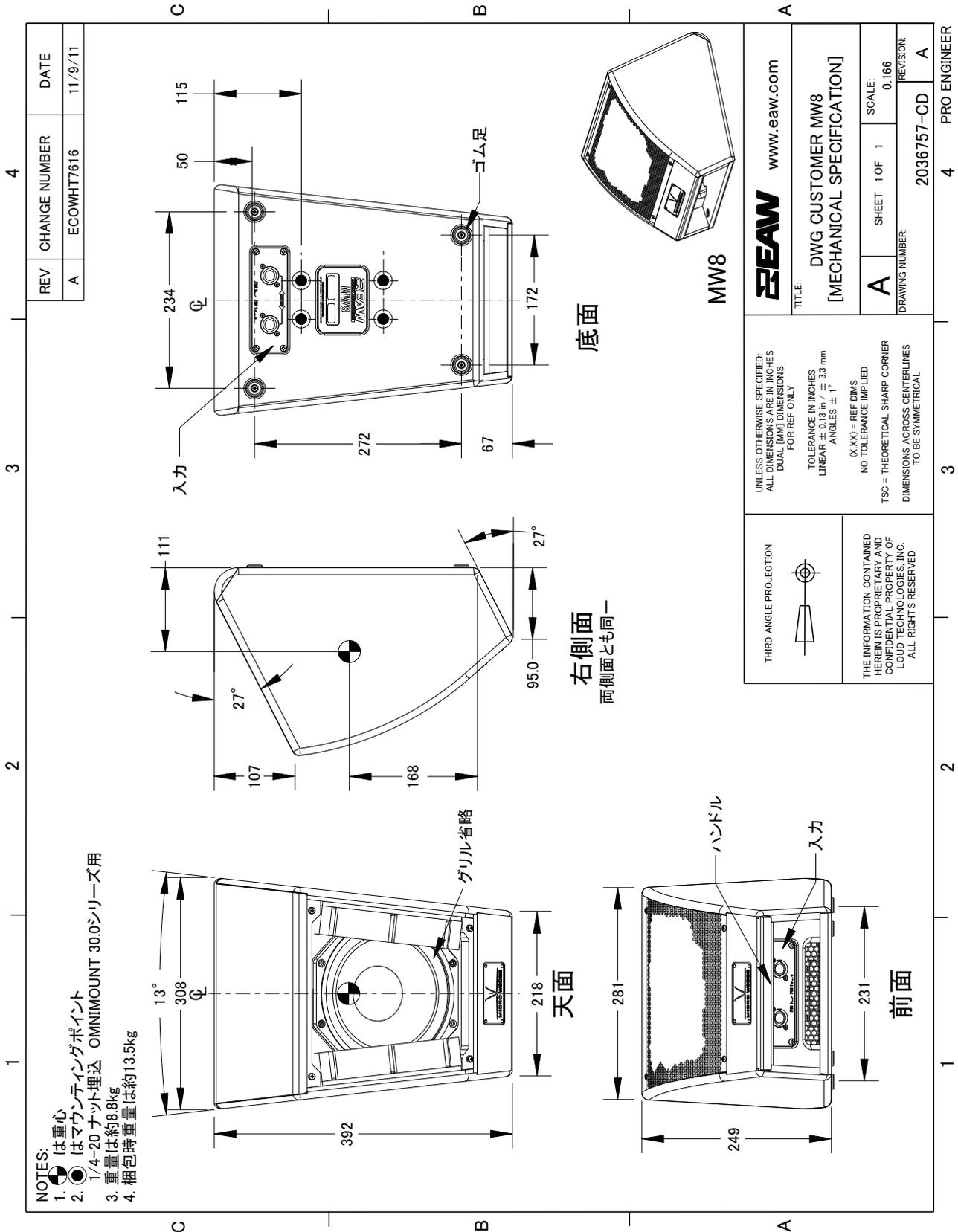
動作範囲	73Hz ~ 18kHz	
公称放射幅		
水平	90 度	
垂直	90 度	
軸上能率 (全方向, SPL)		
LF/HF	94dB	73Hz ~ 18kHz
入力インピーダンス (Ω)		
公称	最小	
LF/HF	8	6.5 @ 250Hz
推奨ハイパスフィルター	ハイパス ⇒ 70 Hz, 12 dB/oct バターワース	
アクセラレータライフテスト		
LF/HF	52.9 V	350 W @ 8 Ω
軸上限界出力算出値 (全方向, SPL)		
平均	ピーク	
LF/HF	119 dB	125 dB

ORDERING DATA

内容	パーツ番号
MW8 黒	2037149-90
MW8 白	2037948-90

ENCLOSURE

素材 バルト海沿岸産樺材合板
 仕上げ RoadCoat 耐耗性黒色テクスチャーペイント
 グリル パウダーコーティングパンチングスチール

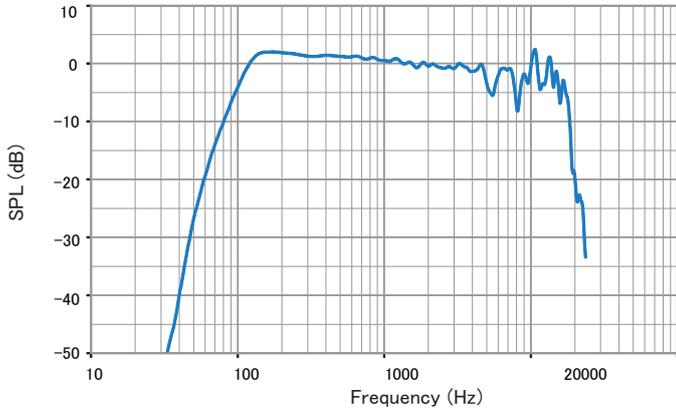


日本語版注釈

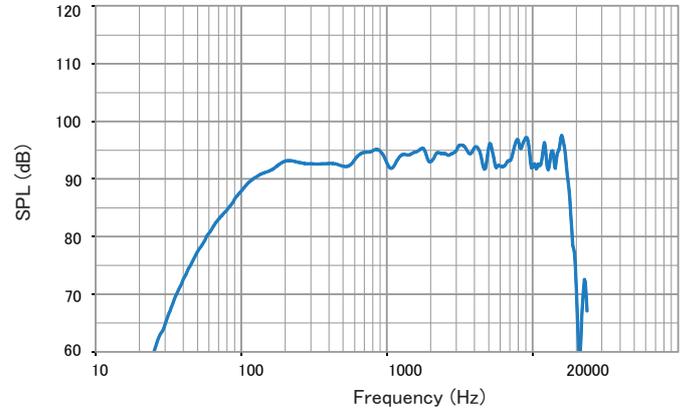
- オリジナル図面における誤差は 0.13 インチ、± 1 度です。
- 日本語版の図面は mm 表示で、小数第一位を四捨五入しています。

PERFORMANCE DATA 注釈は最終ページの「NOTE」をご参照ください。

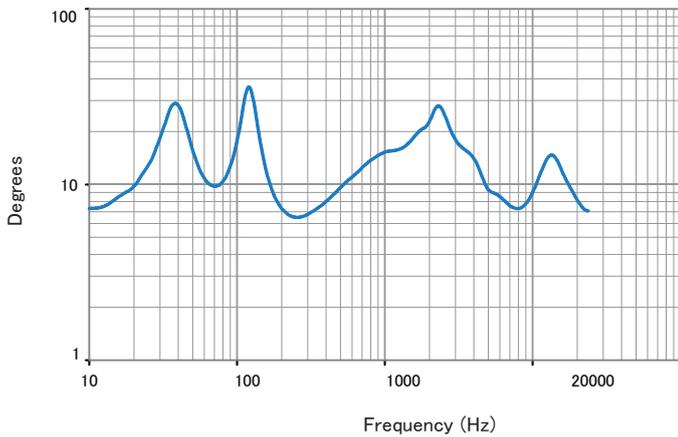
周波数特性：プロセッシング済み
全体 = 青



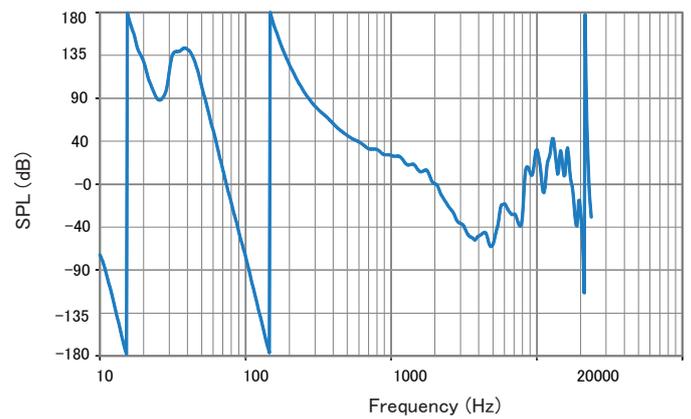
周波数特性：プロセッシングしていない場合
全体 = 青



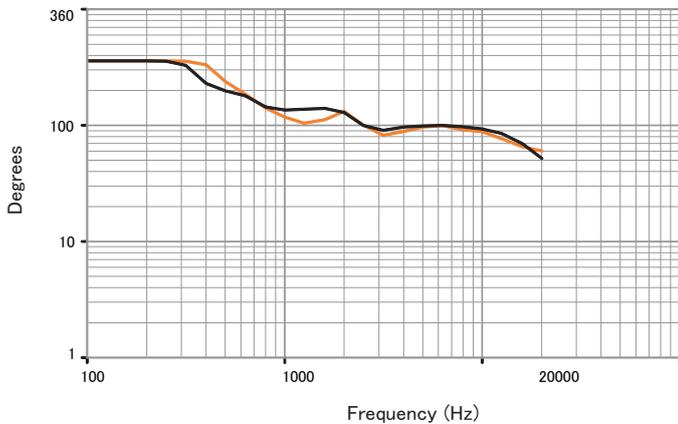
インピーダンス
全体 = 青



位相リニアリティ
全体 = 青



放射幅
水平 = 橙 垂直 = 黒



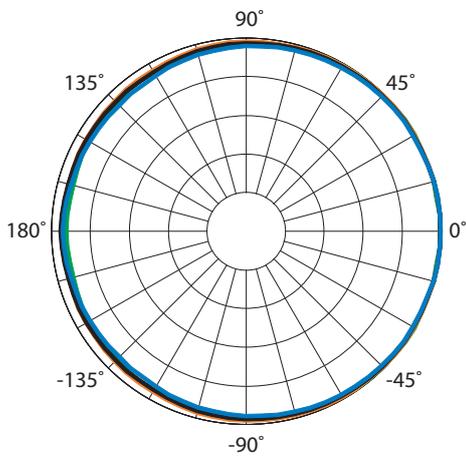
★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : RD0612-J Rev A00 Nov. 2011

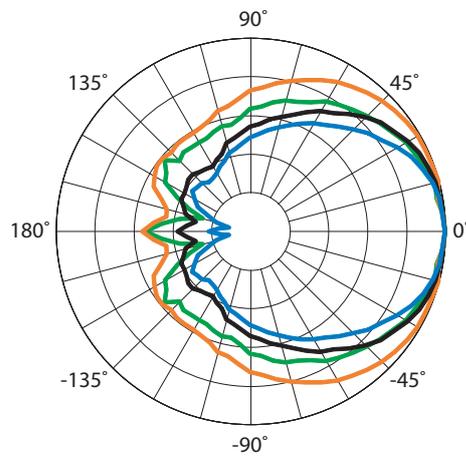


POLAR DATA 注釈は最終ページの「NOTE」をご参照ください。

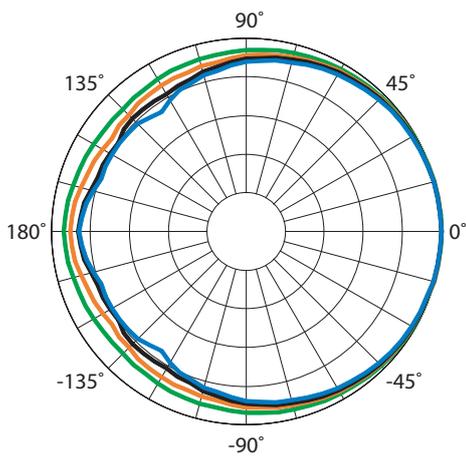
水平ポーラパターン



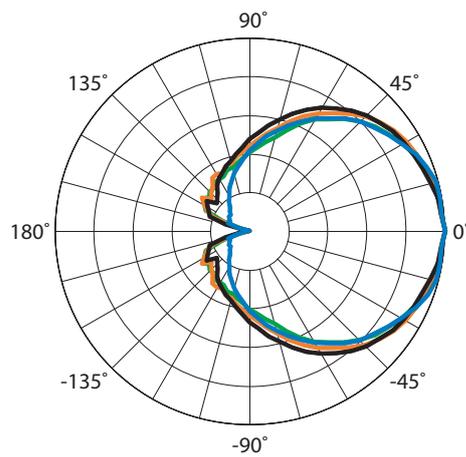
- 100Hz
- 125Hz
- 160Hz
- 200Hz



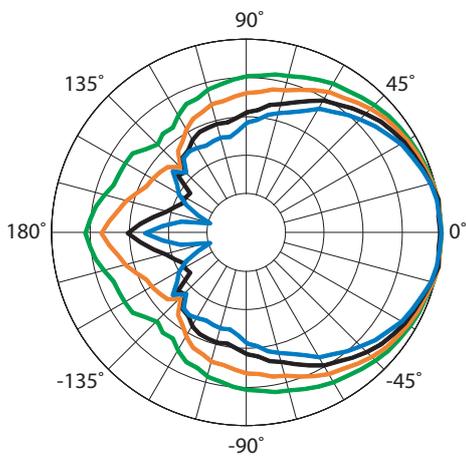
- 1600Hz
- 2000Hz
- 2500Hz
- 3150Hz



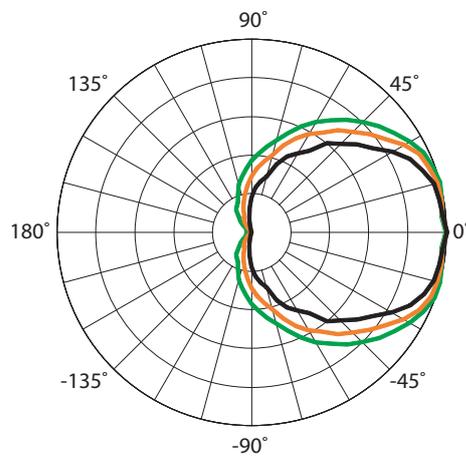
- 250Hz
- 315Hz
- 400Hz
- 500Hz



- 4000Hz
- 5000Hz
- 6300Hz
- 8000Hz



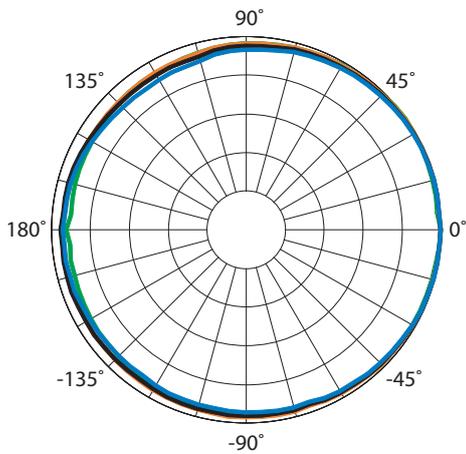
- 630Hz
- 800Hz
- 1000Hz
- 1250Hz



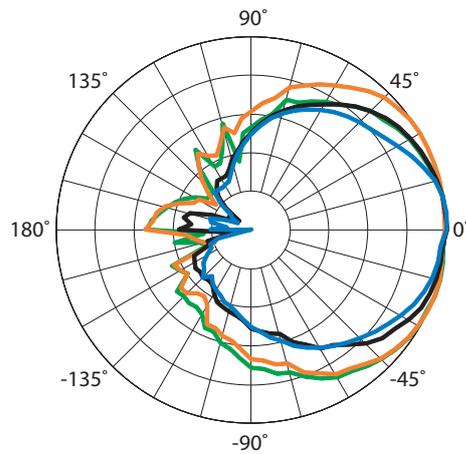
- 10000Hz
- 12500Hz
- 16000Hz

POLAR DATA 注釈は最終ページの「NOTE」をご参照ください。

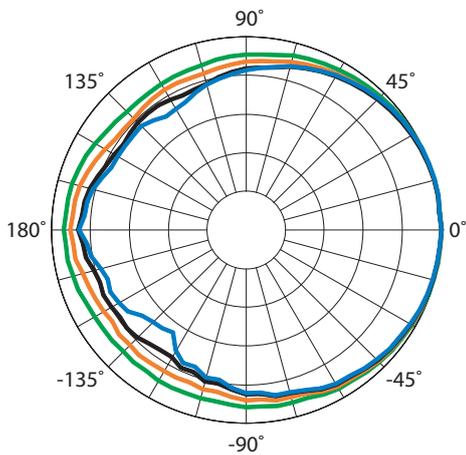
垂直ポーラパターン



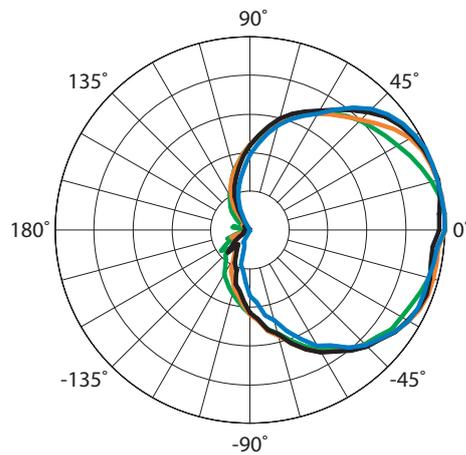
- 100Hz
- 125Hz
- 160Hz
- 200Hz



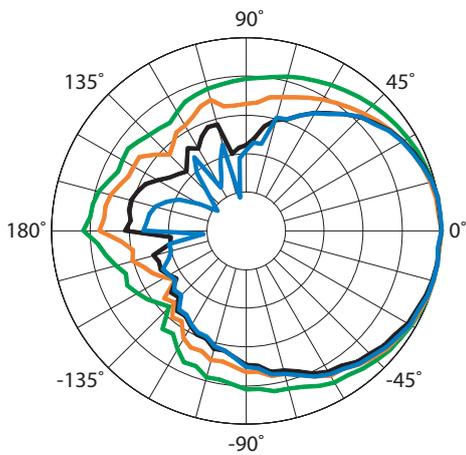
- 1600Hz
- 2000Hz
- 2500Hz
- 3150Hz



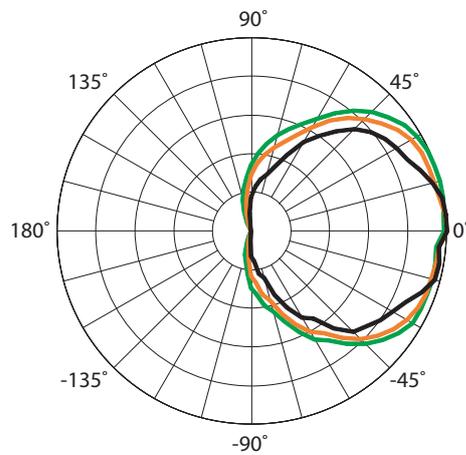
- 250Hz
- 315Hz
- 400Hz
- 500Hz



- 4000Hz
- 5000Hz
- 6300Hz
- 8000Hz

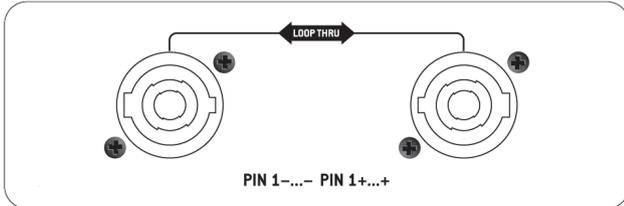


- 630Hz
- 800Hz
- 1000Hz
- 1250Hz

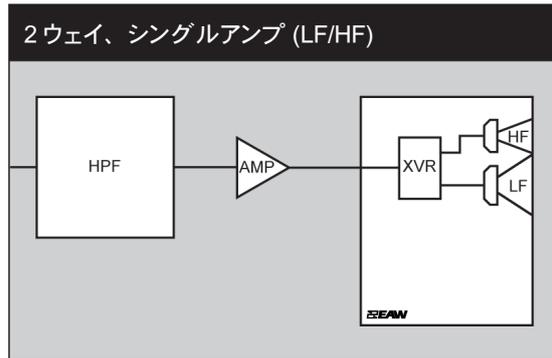


- 10000Hz
- 12500Hz
- 16000Hz

INPUT PANEL



SIGNAL DIAGRAM



LEGEND

DSP: EQ、リミッター、ディレイ等用にデジタルシグナルプロセッサをご用意ください。
 HPF: クロスオーバー用、あるいは推奨値に設定してください。
 LPF: クロスオーバー用ローパスフィルターです。
 LF/MF/HF: LFは低域、MFは中域、HFは高域を表します。
 AMP: 適切なパワーアンプをご用意ください。
 XVR: パッシブのLPF、HPF、EQ

NOTES

表組みデータについて

- 測定 / データプロセッシングシステム…プライマリ: F-Chart (EAW 専用ソフトウェア) セカンダリ: B&K 2012
- マイクロフォンシステム…Earthworks M30 : B&K 4133
- 測定…デュアルチャンネル FFT FFT 長: 32768 サンプル サンプリング周波数: 48kHz 対数サインウェーブスイープ
- 測定システムの品質 (不明分含む)…SPL: 正確度 ± 0.2dB@1kHz, 精度: ± 0.5dB (20Hz ~ 20kHz), 分解能: 0.05dB 周波数: 正確度: ± 1%, 精度: ± 0.1Hz, 分解能: 1.5Hz または 1/48oct 以上 時間: 正確度: ± 10.4 μs, 精度: ± 0.5 μs, 分解能: 10.4 μs 角度: 正確度 ± 1度, 精度: ± 0.5度, 分解能: 0.5度
- 環境…時間窓による測定 測定スペースの影響をプロセッシング時に排除しほぼ無響室をシミュレート 無響あるいは小スペースのデータとしてプロセッシング
- 測定距離…7.46m 音響特性は 20m でのサブシステムのパワーを位相振幅合成で算出して表示 逆二乗則を適用して他距離のデータを算出
- エンクロージャの向き…放射幅とパターンは寸法図通りの向きで測定
- V (ボルト)…テスト信号の rms 値を測定
- W (ワット)…プロオーディオ業界における「スピーカーの W」は因習的に電圧の 2 乗を定格公称インピーダンスで除算するため、国際的な基準で定義されたエネルギーとしての W という真の単位は存在しないものとした
- SPL (音圧レベル)…信号の平均レベル相当 0dB SPL=20 μ Pa
- サブシステム…各通過帯域のユニット及びその音響的負荷 Sub= サブウーファー LF= 低域 MF= 中域 HF= 高域
- 動作モード…選択可能なコンフィギュレーション サブシステム同士がコンマ (,) で区切られている場合 = アンプチャンネルは別 サブシステム同士がスラッシュ (/) で区切られている場合 = 単一アンプチャンネル DSP= デジタルシグナルプロセッサ ※重要※ 表記された仕様を実現するためには EAW 提供の設定による外付けデジタルシグナルプロセッサの併用が必要
- 動作帯域…プロセッシングされた周波数特性で平均出力音圧レベルから -10dB SPL 以内の範囲の数値 幾何学的な軸上で測定 狭い帯域でのディップを除く
- 公称放射幅…0dB SPL を最高レベルとしたとき -6dB SPL のポイントで設定
- 軸上能率…公称インピーダンスで 1W を出力する入力電圧を供給したときの動作帯域における平均出力音圧レベル 外部プロセッサなしで測定 距離 1m
- 公称インピーダンス…4、8、16 Ω の抵抗を選択 最小インピーダンスポイントは動作範囲内でこの値を 20% 以上下回らない
- 推奨ハイパスフィルター…動作範囲を下回る過剰な入力信号からスピーカーを保護するために適用するもの
- アクセラレートライフテスト…EIA-426B で定義されたスペクトルを供給した際の最大テスト入力電圧 推奨シグナルプロセッシング / プロテクトフィルターを併用して測定
- 軸上限界出力算出値…アクセラレートライフテスト中に実現可能な平均音圧レベルの最高値とピーク音圧レベル ピーク SPL はライフテスト信号が持つ 2:1 (6dB) のクレストファクターを反映

グラフデータについて

- 解像度…重要性の低い細部を除去 音響的周波数特性は 1/12oct のケプストラムで平滑化 放射幅とインピーダンスは 1/3oct のケプストラムで平滑化 他は未加工
- 周波数特性…周波数ごとの音響出力の変動を表示 入力信号は一定で公称インピーダンス 4 Ω の場合 2V, 公称インピーダンス 8 Ω の場合 2.83V, 公称インピーダンス 16 Ω の場合 4V
- プロセッサの特性…0.775V=0dB の一定した入力信号に対する周波数ごとの出力レベルの変動を表示
- 放射幅…1/3oct の周波数帯での平均角度 スピーカー背面から測定を開始して最高レベル 0dB SPL に対して -6dB SPL となったポイント この方法では放射角度内に -6dB SPL までドロップした部分も含まれる
- インピーダンス…インピーダンスの変動を Ω で表示 対周波数で表示し電圧 / 電流の位相は参照しない インピーダンス値は真の W (上記参照) の算出には使用しないものと思われる
- ポーラデータ…100Hz から 16kHz または動作範囲における水平と垂直の 1/3oct ポーラ特性



★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : RD0612-J Rev A00 Nov. 2011